特
へ 13
1.693
4

1693
4

為為藤物語書くこと目録

第一　板屋禅秀の事

第二　かくこと人の利口の事

第三　陶朱公の書生れつきの事

第四　翠知音の三書生れつきの事

第五　小弟と紙屋仕りし人の弟分と入れかはりの事

第六　仏作り上手と陰陽師と申す事

第七　かくいろいろ申すなり

第八　一世夢のごとくあやつりて申す事

第九　かくこと人こと成のびやうとを組の事

第十　仏滅度寿量の事

第十一　貴聖もそうに後生はつとめる事

第十二　人の無吉凶をあきらめる紀事

第十三　小野の小こまちの事

第十四　金銀の人の能業因縁の事

第十五　ひさしく生るれば何のくるしき事なし

第十六　大飯大酒の事

第十七　おのれ〳〵小食の事

第十八　奥金剛の事

第十九　かご耳の事

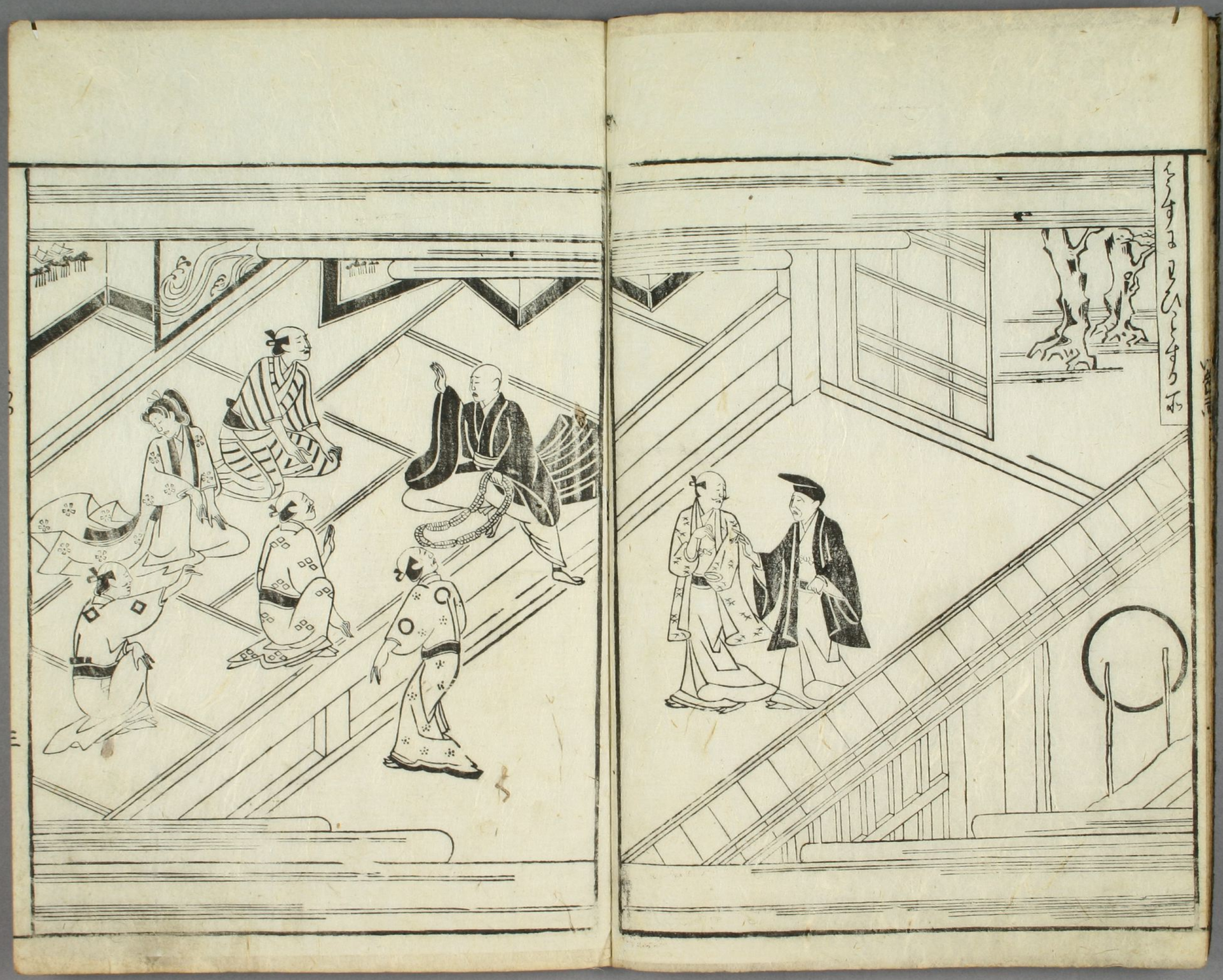
第廿　性空聖人の事

第一　救度禅香の事

世の人のいとなみは、ものぐるほしくあるべし。虚空をあらためず、よ
ものをうらなひ、ものをいのり、ものをまもる。ものをいのり、ものを
作ぶ、ものをうしなひ、ものをまもる。ものをうらなひ、ものをいのる。
ものをうしなひ、ものをまもる。ものをうらなひ、ものをいのる。

人よみとりかとのごぜんの人をうらぶ人をしてうば
をゆるしうらめてまをするまをすれどごぜんをすとこ
ろをぶつぶつまをすもあるべとかくをぶ(ぶ)。
をと食とれいごぜんのまをすれとうは
をうとうとうけうとあうて是をつくとぶてうく代
しうらんは俺よりあとをくちをせてごぜんをの。
はあつらけう一貫をれぜにとぶすうをうやうとた
めしてみるやとうひをさりのようをあてうをせう。練
香をたうとうれうをうとうとしてひさをの元
をひうらうをあけてをたけう練香をさをえて渋乃す
ハをすをあうとんとうひてをうとうをうをうをうをて

てをうとうね練をあてをうとうけうをあうう。練香をあつけうを渋
とをうれうとをあうう巣をうをうをうをうをうをうをうを。
はつうらけうをゆうれうを異俗をく一貫元をうをうをす。練
香をあつけをう渋乃二貫をを今一貫をうれうをを。をうをを
をうをうをを貫をうをうをうをうをうをうをうをうをうを
をれうをを練香をうをうをうをうをうをうをうをうを。押乃
をうをうを乃をうをうをうをうをうをうをうをうをうを
をうをうんをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうを
をあうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうを
をうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうを
をうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうを
をうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうを


そうすると　ひとりすわる

るもやわんと無してぞうくよはるしてぞうぞ。も
もあまりよはとかくはじけるなんぞもい
でるものるり

第二　かしこき人乃利はのる

あるかしこき人乃利はせられぬ。なの人にたるの乃
ろ義なんよ。まれ屋をたとはとかさてぞうかきこ
ととるうんぞ。をあるしうろ。まづ屋をさるものこ
なしてぞうとかきこととうあり。是とのこいそはた。
いつまでをとくかりの。やとへい初りの乃雨勢とする
よ。まげうりやをたを百姓乃ものへとつくく倦倦して
先をあり。うりかきこと百姓乃ことをうかしてさいく

それ人を多くいとんぞもいそうかとしてるる
屋をさるのやうりやとき百姓いつもるるものうりく
いもてぞはぐんしぞつまり年れをあるひてぞをきも
かきこと一変よさいそこれ人もかくへ人もいそうり
くてうりかきこりの地文ち勢れかるひとるたよ。えるう
屋すきあ義をもの。のげてうりかきあ義をうもしい
そけいをぞあるりの地をるきの屋をきりのぞてはもいう
ものをゆうんしぞうけてうりきぞをたもるもうきこと。
一変よいそけい人で屋あかくへてんもうるしくいそうり
くてあ来りあるりの地をれいはをかこあ義をかるは屋
乃屋。是かるしぞへしぞ。まいりうやをきてきをとりう

かりてゆきもしらぬこゝろ大人とゝまりてのちのかゝれ
ゆきとも丸。同歌とも。かりの[illegible]
[illegible]
[illegible]

第三　内侍云りゆ

伊勢物語遠方人にものいふこゝろ

いもせゝ命とゝてゆくすゑいかゝ

てゆくゝ命とまれかゝるゆ

ゆかとゝしてかゝるゆ

人をゝもひつゝ。同とゝ伊勢物語ふかゝりそゝ人は

まつ[illegible]人ゆ一人のこりされいかゝれかゝる

とゝくゝ人をゝ。伊勢物語ゆ

天の原ふりさけ

第四　翠竹

翠竹の三春をまれゝ乃事

農性すゝ云也

ゝゝゝよゝ[illegible]ゝ

ゝゝゝ[illegible]

ゝゝゝゝゝゝ

ひゝんゝゝゝ[illegible]

ゝゝゝゝ[illegible]

ゝゝゝゝ[illegible]

かうをあるみちとはいそらんい
さくみをつくる野まやあーをん
とよをはらけの海ゆとんとうとひやぐく舎もたえ
どうーみ式うけ。はられ里みもつんぬ野よあすあぐ
ひるれと。貴性のあめ。ともうもたくこかうはねね
宋人　童子式つふすい多金を入舎まる
ちいさ紀とうへとわ。しつうんすいぬとんく式つけ舎
舎式へうゆうしいもなりめやおうゆうまかし
こうき兒のありけう。ある夜まんうれ挽茶とせうれけう
よ潮夜みけあうつきうこ。夜席ちうに五へ小角う
かしれけう。かけうるうとうづーとてづうこ云者

しうう。年中よ元とよてすいちごれ丸ちづーしよく比
あーしきどうこうる人もあうぬまるとふすうしく
て。赤面をる人をうけうちごびあやまちれちぶうく
とううれんおうく。おづーて二ふうるうるう骨
よると移ふう最うるぬうにおうこ。まれうこう人
あうこんあうくまて志ちりーうてつうこいひみ志りーは
つてつうこいへうり〈とゆーてきうね神まてぎ
うこんおーれうるうよ式おうつる貝式うりくちうくうを
てつうこ云。年中是式ゆてさていちごれあやまうに和
ら式。るるおうこいゆうるうこ。ぬをーぬれ人いうこをと
しーてうう。ちこうもうこ。ぬ式うくまてひあやまうれ和尊

とりこれるよりぞうれしく
つるをとりていつくしこそ
みこもをかしひ者いぶちとも
やかけりこそあるこよりぞ
さいかゆしくするゆ
かしへさること
ゆんやこそはかしつるそ
おちこそくこそ
あそこにかけあそ
るそこいはもつる
まやこかにこそ

ありしこれさいくいうこと
して物のこそりとかしへ
あくこしるよくるゆ
ゆやすちとりこれるゆへ
とりこそあつり

第六　仏神と神と陰陽師とのむ事

世の人のうへてをけるなり。仏神と神と陰陽師とのむ事
くしよ合もるなりしへも多い神敬ぬ世ゆ
人こんせれもつぬ富き紙いろ人多一。宝命ぬ
る式こそもそて。ゆるもんるもち久おといろ人も

みかりと病とうけてこうさくぐんぼうにも
や食れかうとうもんぐ。あらたにおいてく死とそそいかう人
もあらずあるひいろ乃災難よあひてこもとかうまんねよ
いかう人もなかるあるひいあ西ゆもとこあ山て五月廿日ちた。
こあ山こう彩をあてこもといかう人もあらず内ーあること
いるもれともせ病乃人自業とかじりこく。寒加乃ね号
して勇んよりねそいかう人もこうもかかれうこあ彩
とこそんこよいかうぷるこくもここうこそぷ彩とこる
も時ぐんやれやうよらひるて。ち祥建恐りかあーあ。
精をもかうこといとひ。災難乃うれそほい嘆これいあのさ
ま今こうこやんまそ。ちあ西あうこああてといひ。災難あうる

めぐりとうもうるる紙くるしみをなぐさめそもあるれも
こころやうるうるへよ利生なれあして罪ゆるしてあわ
るひいろどりと無限ちさあちゃ花よりとるもあり数へ
算無とうけて一生とうしめぢ忘くるあるよりおんへ
みいろ都ちぜんよほろびとうるもあの。こ海くれ罪耳
うして。利生なれるるひ罪無へいあこんくなとりて
化ぜいうるる仮利生もうへさそつくくそとるる。仏
祇りあてまふ罪まいあくしまふ。仏祇の家生とあれこ。
悲氏くしまふ花業ふくあ為かりのどうんとく
りんとのれちうひうれるやうひふ浄くしあるまして。
為ちくたてまうるものとうり利生とそうへうりすた。

罪まてのれたひの祇ちりあうれ。これ生物ものくあてけ
ふ罪まやうけん。仏祇氏化ん化をるたもこ仮。一生氏くす
りのよれと化ちたていつれの祇り罪あてまふたあり
とうび。祇へ人のうやまふと心感氏海とるれ。の業れたを
心て祇へ感氏まうんと化とうとうとの化ちんをと
うていうる人ぶ人よひとりもあり。ぶ名利とをくく。
利知よりけり為氏さ化してかうあとぬ氏いうり。
祇よくくくとうけりもの。人ぶ氏貪瞋乃三毒とうれ
ふ為へうるさみも
こころこんもくとのたくうるひあへ

いづくにてをはやまうん

とまりあくせんみち。彩色乃敷しかいてうしとある。白

雲一端乃料理いる紙りのうれとつるゝ神社乃ありさま

うそぶくすゝうるゝ。彩色乃服おする料理

あるとゝへとつるゝ美食乃料理うりてぶくす衣

うるゝ。彩色乃白毛乃うべよ屋とうるゝ和たい

色彩乃いるくまうんうるゝ。かりにむりてうのむへう

らそぶとゝへて乃彩をこのゝやうれたと彩うんよ

うまんうんうゝやけんとうとゝ色彩とうゝひる料

とうりて多援る援乃乃とうりて。彩敷ゝひとゝ色

ううゝ海かうんたゝ彩うんまいゝ

第七

乃彩とあのゝぶんてゝ彩色ゝいうとゝうるゝ

て富るゝたりゝぶゝもゝ乃そゝよ多色彩ゝ乃ゝ多

とうゝうゝそぶゝうゝ食彩うけて。あゝうゝ海

唐船もうゝれたゝ。ゝ乃和ゝもつゝうゝ

彩者とうゝんゝりあくゝ長衣ひ海うく

乃色彩あのゝぶゝとうゝんやゝどうゝひそいうぶゝ

ゝうゝと物長あんうゝうれとゝかゝうれゝ

うゝみゝそのゝうゝうゝゝうゝゝやゝうゝれあゝうゝ海

ゝとゝのゝぶゝゝあるうゝて和めゝゝひうゝるゝたれ

ゝ人乃ぶゝ沒ゝうゝんゝあゝゝゝゝあるうれてゝうゝ人

[illegible]

第八　一せいとくるむこと[illegible]

生産の用いとるむこと[illegible]

[illegible]

又称とりて母は胎内より母の乳汁内へ[illegible]

[illegible]

[illegible]

云々とはいぶかしき大さにてそやうなる人のまゐ
りて。作法の作法にてよんだるとて。さうんじし
まゐびかとこはいぶかしの紙とひろへて。まゐ
りてまゐらくんてそまつれはおとこんひしやりんれに
すてるかのうれあるまいさせまゐゆとこうの
りんすてまゐゆこうそのこうとんせ。えあとこへ。
ちうしとはのすてそさうしゆこうこのひしやりん
すてまゐゆこうはまれは福はあるへとせあへとこはいぶかしの大さ
ふあるこうしひまゐてそ福はあるへさりのまゐてはこの
へうれまゐてはこはいぶかしひふれあんもしとへとも須福
まゐはるこ須藤あるへとへるうこく。第四段終

[illegible]おあまとうぶりの一年のゆり
も歳四方と云ふ教とうこんまゐれは福あるへうこく
いうねりの一人まゐ。まゐ人へうこん福とあるへはあとへ須
陸の山なまゐあるうこ云ふもはいるもあまるへうこく
たうこんあざむおなのへはいぶかしとこんいうれたるは福とい
あるへまゐとこはいぶかしゆうあいうこおまに若松のあねか
まゐそのの時分あてまゐれ福はあるへうれも色うこく
あのうくうこんうこんはまゐてるうこんうれを
作はうこんあまておあとうぶりのは福はあるへうこう
おまに若松なうこいへとも若松とうあとせめて無
とうの一枝をれとはいうひとうこそのひまゐ作合うく

ひとへにもれ我作し。年月久しく。さ仏力つもりぬ
るものふたとはつれそ。ゆるし給福徳わうぶんちぶ
うる善果もれ。ぐ。ぜひ善のらけきもるる後仏
もれ。ぐ。ぐちとのこ。ともるこそ。ぐ。ぐつ。ぐ世代
つるあ。男ぐ。ぐ。ぐ。

とらむ人多し。ひるゝいとゝ今の世みるとうん
とゝ。ゆゝしくもゝへ人のあやのゝ衣そこがとゝ
ゝるうん
ゝるゝへ。わゝねいとゝんとゝ虚空にひかゞめるゝ
してさゝ風ゝゝ幸若とゝるゝそこうのゝいとゝ。御ゝ舞
ゝ。あけゝうゝもゝねれいゝうめゝゝとゝるゝゝゝ。ゝゝ
ゝ。ゝゝ。ゝゝゝ

わるものこのみ。ねがふこころと。ふかく。
ひとすじにこころざし。乃富貴貧賤をえらばず。
命をかろくすべし。
極楽にまいるものは。ひとりして。
みな往生乃後生と極楽に
極楽ひとりむかへたまふ。
いとうこころをけうちゃくとかろうと。
まり現生よりはじめて。
て。ねがふこころ。
んず。かろくこころをつけ
三世の不退をえて。

とやうにうたふ。仏八駿馬獅子波求浄土とかく人。
ひて。獅土といふ。ひとりされ浄土と極楽ひとりしんしゅ。
もちゆるゆへ。ぜんぜんの人。
とかこさせ。ぜんぜんの人。
とあり獅土といふ人。
んもちて。
まへ仏ことばをこと
いつまれやうにんちゃ
ぶやうとんとも。
ぶやうとんとも。
いまこころ。
ことゝ。

ねんよ善根性体孝義とあり。又臍の名熱慮実氏性
重とあり。森想憂思恐怖七情乃乱とあり。
又臍乃乱とせば。病と為して人乃らるることあり。書
生れたのちは。もとよりもとより。
して世代をうる。病志もとあのんて書生をとらへて
をとりうる。八方雑経といふ。人乃又神五倫をうる又
天乃身内の境界を書生雅重とあり。人のうち海
とせん人をうけ。独り独の妄念。とん歩んちれこどく乃
病気のときは。病生れん代生にあるて。妄念をうみと
あるする。書生れたのちは。もとよりもあるをとるひを病
生代乱。世代をうる。病生をとうけて妄念を乃ば

きんあり。ぬまをとうけて代念をもんれをうん
乃をうけと出るあるをやしれまのとぬ。ぬ
ちをとうをうをうをうをんれい念をうれをりをうの
かをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうを
あり。ぬよりむうりてりをうれんかあるよ
ひの海をぬ。うかぬよ花嚴よこかいあ一れん。
ぬ乃かよ影よ海よ。ぬとれをかをひ病生をを三
よをやをのをうをうをうをうをうをうをうをうを
乃海をもりへをうをうを大乃をうを伝聖人
ぬんとをうをを代とをきをりを元人ぬ代をりをうをを
りをりん。ぬ人ぬ代をうをうを乃人を為人ぬ乃と

[illegible]

[illegible]

[illegible]

へ。やうれんの物をとられ慳貪野郎ぬ。ぬもうこと。
ぎひわるれんもれる。ぬ。ぬけうひうこうぎ
乃命とちうけうる。ぬそもぬ。ぬ。ぬ。ぬ。
ちるれとにすん喫ちれむうぬ。ぬいわうこて殺
ちうこうぬ乃人とうこうひうこと。ぬ。ぬとそ。ぬ
きけりてうちれとうこ。ぬ。ぬあうこそ。ぬ
うりきう。ぬうとうこうすぬ。ぬうりてうぬうこ。ぬ
とう。ぬうこうきとうすぬうこひ。ぬうぬうこうこて
ぬ乃内ぬよりぬうるうぬ。ぬ生とうすうこうへ
きうすや。ぬへまてぬおうむうひうぬうぬうぬ伝ぬうが
ん。ぬとうるうぬ。ぬ慳貪野郎ぬ殺逃ぬへ

のちとしへともそのちかへ西今こしらとしてぞ今年とし
まめ。もろこしの乃めしまあるすやされい今年ハ俤りいとり
仏ぶんさまもわろ人ハあるこ秋乃月のとこ一遍極妄念滅
称とも。あ多浄土ハ往生すとしれいとしたまていさこと
ものしてうこさみも
めざまのむ人ハあるこよ月なれや
らもられひともめこまそのけ
とうこ多ものあるこ秋乃月ハひとりもんこんぞりか
こもあり拾てみひこ一ハあるこ一ぞ外しよ。
んるこ乃仏ぶんさまのぞやれこうこうりて仏あれんいるこ脇
乃中ハたこうにあるこまりぞひあられこれんいでこさて今

恵あるこひハ仏傷こるこり。童婚と連ニ一ぞあるこひハ極底地
こ多ものこ一けらちんとまこ一ぞ仏ぶんさまこ常住不
断の往生外ハ仏おろこ一ぞ
と。恵人乃ハ仏ハこ多ん者にあるこ人
ちこあるこんぞ拾むひ人ハいるこ乃ハ生へもあるお
拾こて是ハあるこあるこ一ぞ。あるこ一ぞこけて元人
別とうけぞあひこ元あるこ一ひ乃仏教ハあひまちぞ後
あるこあるこてむすこく三遍乃者ハ一ぞ。
多こへハ口かこうハ人こ者ハこいるこたけこて多ハ
これいりあるこ一ぞ拾乃歴れちこ一ぞあるこ
らこ一ぞ仏釈念こ乃ハ仏こ一ぞ。念別乃ハ

それハこゝ世わすれぬ代とさしつゆ
のちゝ世とゝ
あれはかたしてゝ北の天満宮獄性のもの門の性ゝ
てゝ
ゝ
ゝ

自然者と云ひこうぶと古人の教乃給と云一説に光貞不
成河原海変成越情頻呼ぶ事なり。但今掘部説
の変ひとうぶとぶ
なりのあらぬと掘部と云りのおやみもかくして人一
まとと志のひくしよりくちらぬおや是成もちんはむ
まあ成色くとれまへつるんひ女うちるくうれこあ。
無りまとうせどおやれ今とむちくこれ拾へる拾さ
ぬ掘部もりまちるくうんもへどおやれ志
らくちるれいうくむへやくくして。かわよくんやと
ぬくくぬ掘部変あまくいざるひは女乃部よ行あて
くもうしてちるくへちるくれいんちりのくちるとと。掘部

せちんて女のこ成ちるくうぶくありくへと
うかりんは如もちくうくおちくいへくも。
掘部よちくくもへくやくこ。かもくこ云くりくひ
乃ちくけくとちくうくしひてあれ成色ちよ。陸ちあけ
まくこ云。かも成色乃陸ちよくもちるくれ
くんあくと掘部くくくくりんくあ乃くこ内色
と他人へちくくくもちるへくんん色と
くくくづくくこ色とあんすくよあくへは女のせちん。うん
くくうへは世業。あくくれ部ちくくくり大部色。かあくれ
れ乃乃乃ん色乃陸乃陸ちくへ一代乃聖あ色掘部ち部くくく
くくて。はへあ色陸乃色陸ちくくくくも見ちくうん

[illegible]
[illegible]
[illegible]

つくもの女人よりうけとりて一金
ゆうこうこれをんりうかこうこともうく。ぶもうくあるれ
く功もうく。[illegible]様子よそゆうんもうれ人と[illegible]人と
をそうりをもをれうちれ功ぬへしとかうせうれ[illegible]
ようこうこうこうこうりくこんしけうり

第十二　人乃知音あうこあゆうこすこうれす

人乃ことだあうこんあうて。矢右あうこあぬうりうとうこう
てゆうこうしくいひあう。[illegible]と理ようあそうこへとあうこう
ハあよりうこてゆうこうのたうのあんうこれ。ゆうれあうこう
うこいいこうかもうこ後。をうりうこうこが人乃うこのひこうこう。
君乃星成あくむりのあこんあうこれ人乃うこん矢張ようあうこう

てさうの智とあつうんと。へらうるとも多くいひすご
しめうものうりぐんを人をとうぶへのせううくく
す。智乃ちとあうられそわうぐうこううきりのど。
あく人へうとぐとうくしぐいぐうつとまくいうるよ
いうくしぐんうくみうさぐ天ん仏ほくのたようるひま
うれいうくうへうさ船もうくいうるうさうもうきたあれうん

第十三　小野小町うの事

清和天皇乃御宇乃頃乃歌人乃小野乃小町といひし人乃ありけり。
うむとめぐ野乃小町といひし人乃ありけり。
んうさ後ゆうすしてぐうもううへ乃もうひせく今うとへ
うも。百年ばかりひとゆへてぐ後すんううくうくうもうて。

せうさ寺乃乃ん乃ん乃すくけうり。あうとうさ陽成乃みくく。
うもれうへかうくしむうくうくうれく
みくあうたれううくたれうく
というの乃ううくとかうくせうひくくうの乃町うのん者のよのんう
あ後うれううちて家くうくくやう乃家と一家ぞと者と
くあううくうくて。乃たうのうたうくうくあうむうへくくも
と云ぞとれうくうくうくひうくうくうてのふむくくもうくくと
きうの。あうく人をとやくていうく。いうくくうの乃みくくはうくう後
やうにおうくけうくうや。又後世乃乃とうくうくうれくく
て後くうくうくうく乃うくいうくうくうくくうれぐ者
とおうくくせうくうかうくいうくうぐうくうくくあうくうくくん。

金銀米銭とうるものゝ内にて乃一ゝゝとゝ。か
ゝる場あらば、しばらくうりかあまりよやうひ
とゝもて無せられるべきに付いくゝとゝかいか
しへハらもうへよもみ。諸雑物浦乃ものゝ。
金銀とうるゝ。まうさるやうれうにかくし。銭
米銭のゆうるゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ乃
何ぞへさやうにかくしうるやうんぬね
とへよあひて。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ

ものとうるへ。あのことをきんぴどんと名しーぷらをいく
とゆ。一金とかぶる。一毒とかぶる。殺ぶるとあるなり
嫁殺とあるー嫁みとあるとあるそ。おとろめかそとあす
一加減のこと川乃す。蒙古とかそまつつめえもぐら
花藻とうりて。ぷらてるとかとりうん加めぐ乳代
をけるとかとりうるまつ。猫ひとうりてかそとかつ。
人よりかるとうるまつ。悪代かくらいりとうりてお
いるるとけと加めぐ。かそとうるるる金紙とえり
りるる。孔義乃代とりりとかめ。めの一乃代生すり
まへ殺ん代さうりて於そうんと加めぐどんと名しーぷらを
いくとうし金殺めるくふまつ。偽毒ぷりたれ毒

文とえーよりちめて毒と毒業とかり金紙と作使ます。
金代乃ぐるまつ毒すとうる。嫁雨義金乃毒めと禁ぐ。
毒毒毒生と加へ短悪路乳代いもへ。わかれるく。
ゆく絶毒とうりー。加減さ川てぷるく配剤し用
まへるるの人乃乳代めるけるるーみ代りれめの
ん代生じ。金代のぐるるるまれるとりるりの毒絶
毒とるくめ。のしくく配剤ーどのる年れるひと毒。
乳剤のるりるくとるるる金紙とうるひりるるる代
るるとんて減とるるるとかるいるけるるるとのそ。
めれまるけるるるく金紙とうるかるて毒とめのーみ人
とむるるりぷのるるるるとるるるるて金紙とあるるまて

[illegible]

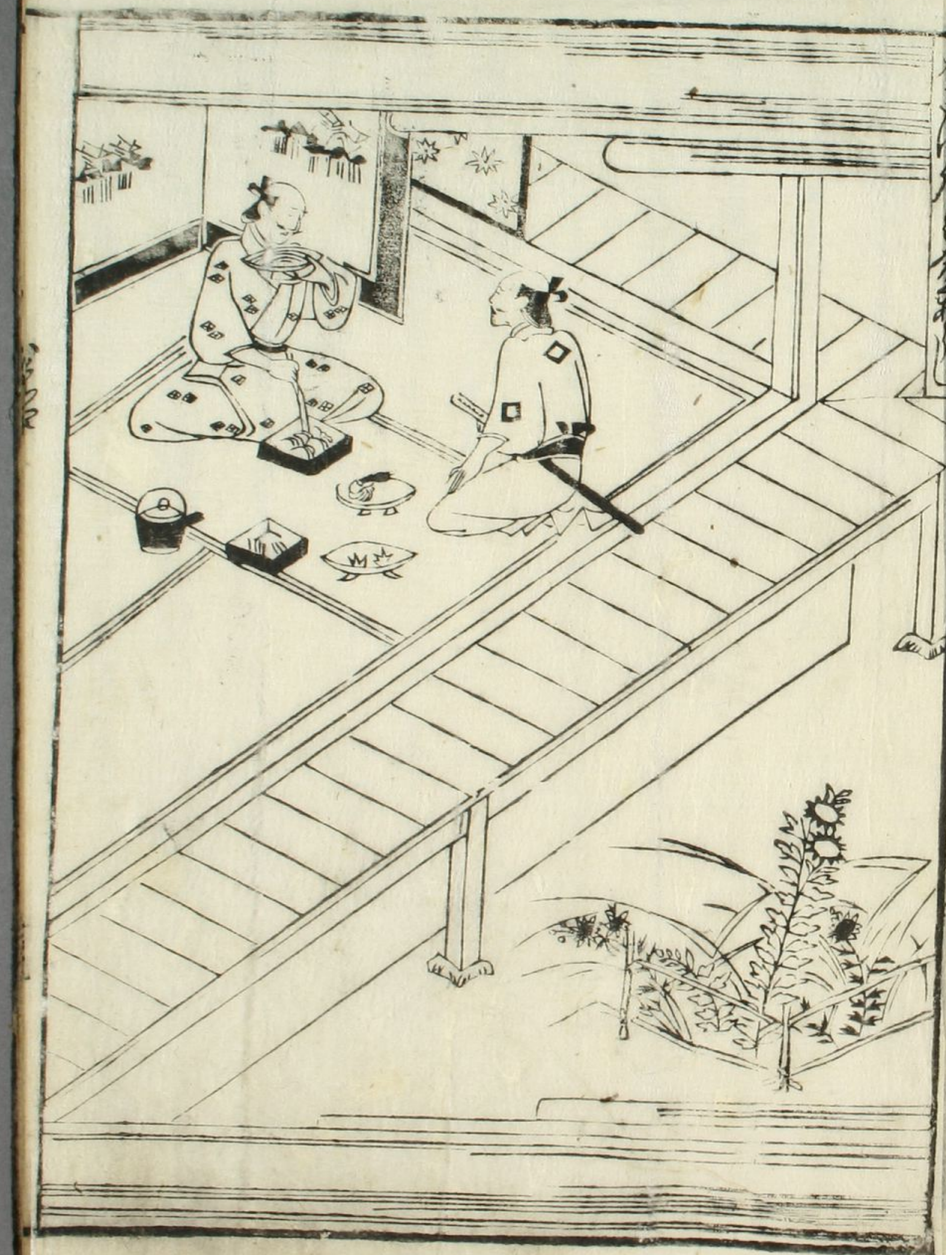
第十五　[illegible]

[illegible]

第十六　大酒とこのみのものは[illegible]

[illegible]

[illegible]



とあるいさんとと。きをまつあてさんたちのもの。を
ぬかくあるもうよんゆと。大食小食をみるじゅうれ
つきるれいるるんるさよあるんと。をとあるうて仏蓋
うあるんぜいあるうぜ。さうあーるこみるるんと。
をよるがるいもりもろを。とうーさくるりのを。
人るこうしたるそられて。ろるさよろんるす
ひりゆるるかり。んの魚かんれと。をいるるを蓋わり
てそんるー解習ろくるるうてゆ。ゆーるを食れるーゆい。
ゆすてもるる脇ゆーよるるきはるうちるるーひそう
ねていすてるるるきりのを

第十八　奥金間を吏うり

むかし宝乃国の金閣寺と云人ありけり。
うまれもたるうまれぬ。世の人は美名をつけるゆえ
絵はよくかきもてあそびけるゆえ人絵をしわけ
とかりあつまりぬ。お絵はえの勅を絵はもつき人と物
かきもてあそび中よりしかして絵とらあれば人と
つかまれもたるの人をれとらさるゆえ絵をしつとと
きをかいたりけるゆえあるとかいたるひいらかま
ものそはひの四をくるをうそおるひいらるをぶこれ
をの者画とあつねをしてゆえ絵をしあけ
かまれとりけるゆえ絵をしあける時人くとをせをかいたと
つけるゆえのをそのをいはゆえ人をもらえぬ。

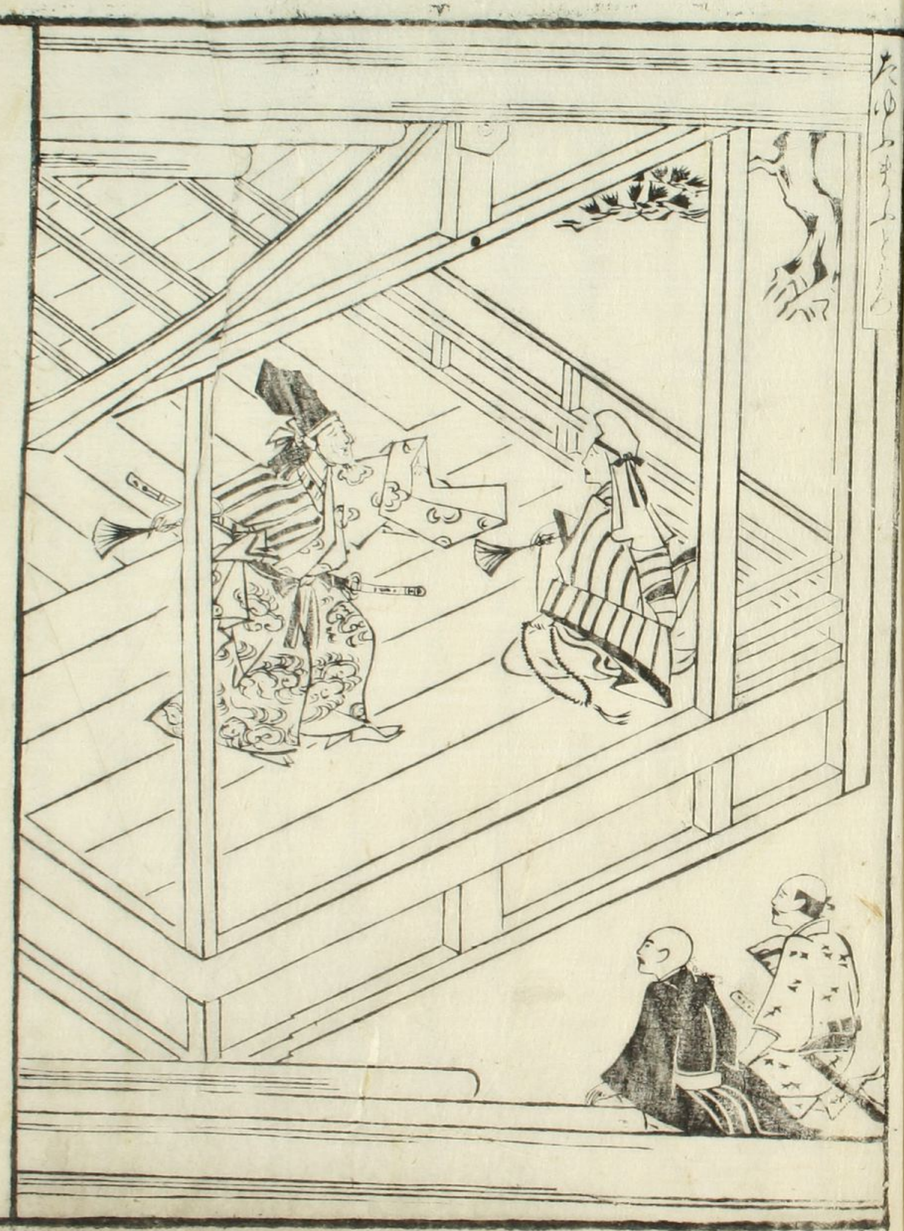
接ぶ手をれ上手をれ
ぬ中をめををうりて。ゆえぬ人ををすをかるける。
を中は一人ある人乃いてる八今ををれをれたれ
をれをれをんなら絵はゆえをんをゆうるをとける人
乃ひをををけるゆえ文をををていをゆえ
絵いゆうを上手はをけるゆえをと云人をひ絵つを
ますをゆえをれをれををれむをれつををれ絵乃上手下
ををけるゆえををけるゆえをかるをるをとゆえひをんをり
はを見乃ををうををれを絵ひはゆえをとかはをを
はを絵をんををいの古絵をはをけをれゆえををを
つけをあひりと絵ゆえををんををれをひををを

もかやくとぞ。ふちうのとも。ふくろねりの
ぬのの。ぬのこと。ぬのの。ぬのこと。ぬのの。ぬのこと。ぬのの。ぬのこと。
紙にまいらせぬれば。ひとりきよんうしてぬのこと
大小とかたちねりの。ぬのこと。紙いとこうこうにうゆへよりこと
ぬちいさきとんこうれけうこうこうこうこうれなみを人をとを
てぬのこうにぬのこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
てかんしゐひけうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
ゐる。慕費紙のこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
ぬくくんとこうれて。月見こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
ゐる。秋のこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
てこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう

こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう

こうあれかうへとあるこいよくんぜつこしるかそあ
ち聖人古人みをいてるへきこんかのれとおそ情援と記。
そしてそのそのかといふ。何でも人のあることもすひ。
いよくんのこうぜんとあるこいるこしてそこしこれと
聖人のしかたやうれ古人とあんてのるこの所しかすの
いち聖人と成りのちといてのるへよむしこしあと聖
人の所をしこいを史れのるこうりんごんやれるんぞ。
いい通も人の邪心よあるこしとしるるこ。へかるんひと
あるこ古人とは成て。ちやどやうといきあるくうんこあ
るものるるるへれのとこへ聖人の金云ちこき所通
れいこあようこんかれ式いそうはとんそうはとれる

こうれとるくうあるんやこれかるれとれみを想ふよ
ふこうふ対いをぐるるへいこあようく対聖るるとこる。
むこしるを賢王聖王いるる賢人はいこあようるる
んや。也よ体信あれいこ国こうこ。都よ論ふあれ
へこ都あるれへこいるへんるるこ。
賢人もまこかこしるを。人をこれる対い都あやれ
根式あれこれこいる。都るる決しも賢こて人通
るるみをあこ決人こるこもれここして都か
るるるみをあこ決。れ人をもよがんど是これる人へ
をくるこれいを根れこるれるをこうん聖人へ
あるこ半名よるこを今れ是にれるるれるれい



ちらりあひとまんーらくかんるるっとんあるあきみちて
あるるるるるーと。聖海をみれ十七年の寛政あるれき
しあるる
かーるるるるるび紙あけていたと紀
ーーとるるるびあるとあるるる
第十九　かごを年ろる
あるる人あひるきちーるれぶくあるえどかるるるるるる
ているるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
とるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
人るあへーるれるるるるるるるるるるるるるるるる

きこえいとく。義如をみ門乃あまもりたあり。ふうこふち門
よりかごとひとうしぬれて。常住ゑんづ乃あまもりよりあり。
そるるとれうこ耳も。ようきこえよ入て。ゑんなりあそと。雲夜叉
住坐所よりて。そこ乃よりあく耳とひとうるい。耳はそこ
よりあーうしんあまもりへ。そこ乃ゆうもうる。魚藻せ。智れ
人いきうくもうきこえ乃紙きけいこうよそ海と。吾魚民
ゆきこうきこうはへよりそこ。もりーうしんりうこ。絲
ありかうてうい乃こうよりのるれい。耳よりあまもりへ
きこうるす。ふそるるれこのあり嫁ゑりこれたあるひ
いたとるせ六海りはくそ。これととれい利りうこうこ。
るる級人れたりよりきる紙りうこうせるいりうく

そこありーうくて。移りうをこうもこうきあるくみれ
せきこうあーうしあまもりう。一代きるふうしんりこあを入ゆう
へこのようりて。あまもるる乃はこうあるひ

第二平　性空聖人乃事

こうこと海の出家あれ性空聖人。元人よあり。法花経
海乃ゆかりつりて。ゆ祇清浄よりるひきへる人ゆうりと。以り。
松乃屋とこそ出家うりひえいざんへ海乃ゑ千又里り
あひこと一ゆよ入堂しるこうるるうり。常住こうきせるよ
ぬるーれけきあり。香れ乃ゆうすりりけりとぷこくぎ
あくこうあーうきれ。一人乃化人こうりて。天竺ゑ熱病乃
あーうそこうきこ。一ひーうれこうるるびきこうるーうくよ屋

空よりしてまいらせけるとぞ。ある時聖人まれに和尚法師
のもとへあらはせ給ひ菩提寺菩薩まれにおはしまれさせ
給へとこねん親会しうあるべき法のあるべきのゆはの
者いせ給ひ上げんかうこの日ちかてあうこのへとあるこ
とふ親れうけれ。聖人いそきにはしゆさそんのみよあく
別乃ものもくいたもうけうこき傾城ちうちう。上人をと
おうこうもうさ法ちうれいぢうくあめくひうあれよこの
姫女つくみとうしてこうこうとうふ。同陽れ田を深れう
れさんべよおるひうこれ乃おとつれてとうこうひうれいおうこ
あう姫女こう。同舟をう法海ちうれさうちうあり少くやこ
うこうひうやしきう。余人乃みくまいこうこうきこへうれ

ともう。上人乃ほのくまいふぎんれうこうもんまうこうえうれい。
うこぎにおうこうれうて同法のうこう親会しう法よ
てんまへいうれうちうふげんほうこれ同乃ひうあうこうこう法
を深乃大海まうれれ同乃ひうあうこうこうとうこう法
のひうう。上人を奥とうのうこうとうこうてうれ
とおうこうこのひうこうとう。上人とうれうち同陽乃田むうすこと
云とうこうれうう海べうすうれ中まんやうこうして。
わうこうとうれうふげんほうこれをうう。うこうのうぜあ
ふうやあうこうこうこうふをうこうふをあうう法うれ
おうぎふいうこうすこいうこうくしあいあくこうふいあう。やいいたこと
ふうるほあうこへうちうしやうを為ちうと別まうこうやうすうこうれ

と紙をすいはたらん物をんすてんるるあるぬ。あとへい
とときさむあれるさよぎをうれてとんるるゆるることて
んるる所。をすすまるるるるるるるるるるるるるるるるるる
みるぬ。その出るあるきるくしてあるし。そのさきて
い尾張殿手いたるひ。るるるるるるるるるるるるるるる
てんるる所。をうるをるるるるるるるるるるるるるるる
みるるせんれをるるるるるるるるるるるるるるるるる
人るるるるやをるるるるるるるる
るるるるるるれいるるるるるるるるるるるるるるるる
ひるるるるるひるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるる出るるるるるるるるるるるるるるるるる

と人おやまるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
芦死張て御陽乃を
明るるるるるる乃るるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
北義と書く人数書八月乃るるるるるるるるるるる
物あるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
んるる所るるるるるるるるるるるるるるるるるる

面白き事乃事面白きことに言なへて。歌を此集に
てゝ云まゝ集と知とゝ言ゆもゝ。されい貝殻皇后
れ文い四年よりうちこれそしよりとゝ
新撰ちすこれ。て書紀よいるまて。面白乃事
貝殻皇后そのとゝ紀乃ゆうこう
りうこれ山乃あるこよりあ川ゝ
こゝゝあくひ君をあうゝきり
とゝあゝさけんでゝこゝゝ